

I 調査結果の概要

1 全国の主要都市における品目別販売区分別（国産標準品、有機栽培品、特別栽培品及び輸入品）の価格・販売動向

(1) 品目別販売区分別の販売店舗数割合

ア 国産標準品の販売店舗数割合を品目別にみると、大半の品目が95%以上の店舗で取り扱われており、95%未満の品目は、ブロッコリー、かぼちゃ、さといも、にんにくの4品目となっている。

一方、輸入品をみると、ブロッコリー、かぼちゃ、にんにくがいずれも20%以上と国産標準品の販売店舗数割合が低い4品目のうち、3品目が上位品目となっている。

イ 有機栽培品をみると、10%以上の店舗で取り扱われている品目は、にんじん、ほうれんそう、ばれいしょ、たまねぎとなっている。

ウ 特別栽培品をみると、10%以上の店舗で取り扱われている品目は、にんじん、たまねぎ、しょうがとなっている。

表1 品目別販売区分別の販売店舗数割合

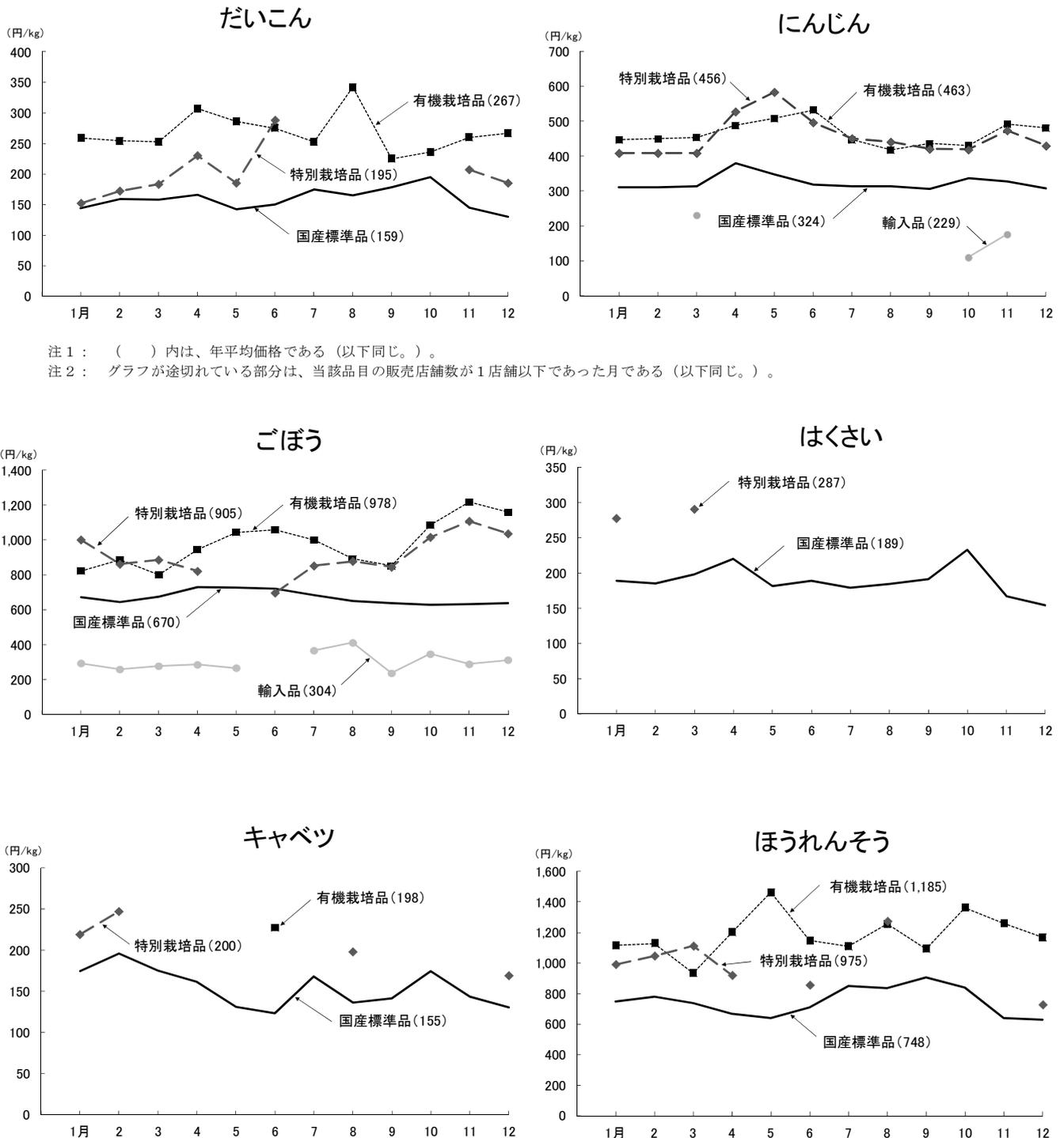
品目	販売店舗数割合			
	国産標準品	有機栽培品	特別栽培品	輸入品
	%	%	%	%
だいこん	98.9	5.6	2.7	...
にんじん	96.8	14.9	10.7	1.1
ごぼう	98.1	6.9	2.9	2.9
はくさい	97.6	...	0.7	...
キャベツ	98.9	0.6	1.5	...
ほうれんそう	98.1	11.2	2.0	...
ねぎ	99.0	1.5	2.6	2.8
ブロッコリー	91.3	22.3
レタス	98.6	...	1.5	...
きゅうり	98.6	0.7	1.8	...
かぼちゃ	79.3	...	2.9	28.1
なす	98.3	0.6	2.4	...
トマト	98.5	3.1	6.2	...
ミニトマト	96.2	3.7	9.3	-
ピーマン	98.2	4.4	5.0	...
ばれいしょ	95.6	12.1	8.4	...
さといも	89.0	...	2.4	1.6
たまねぎ	96.2	14.5	13.5	6.2
にんにく	93.6	...	8.4	31.1
しょうが	95.3	...	16.7	7.7
生しいたけ	98.8	1.2

注：販売店舗数割合は、年間延べ調査店舗（1,223店舗）に対する、各品目の販売区分別の年間延べ販売店舗数の割合である。

(2) 販売区分別の価格動向

販売区分別、月別の価格動向をみると、有機栽培品と特別栽培品は、月別の価格の騰落はあるものの総じて国産標準品を上回って推移し、輸入品は、国産標準品を下回って推移している。

図 1 販売区分別の価格の推移



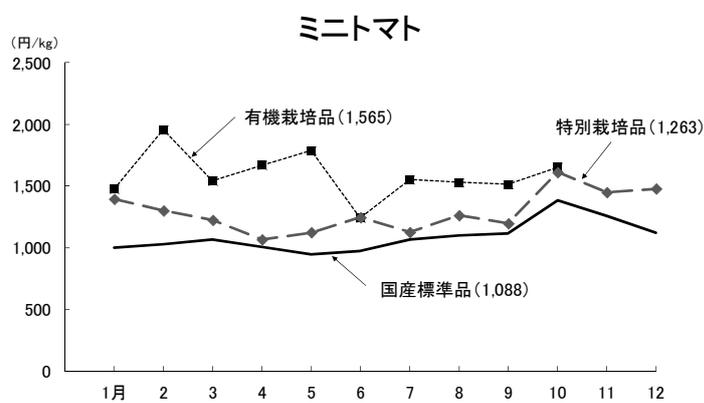
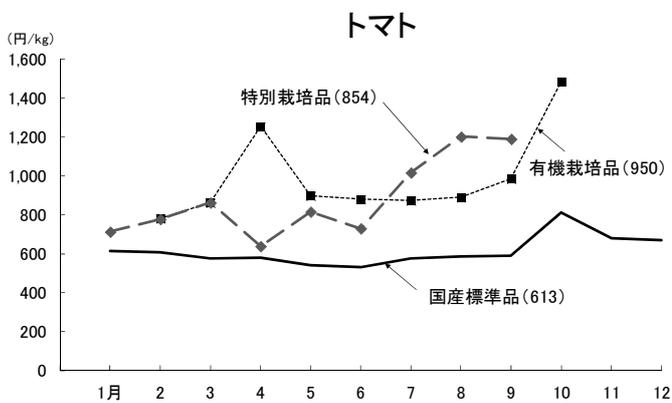
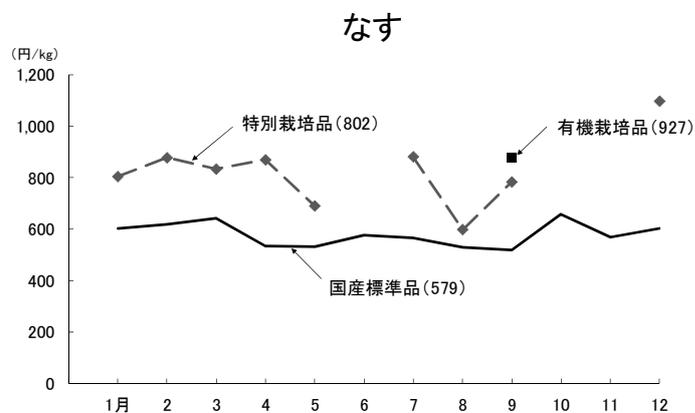
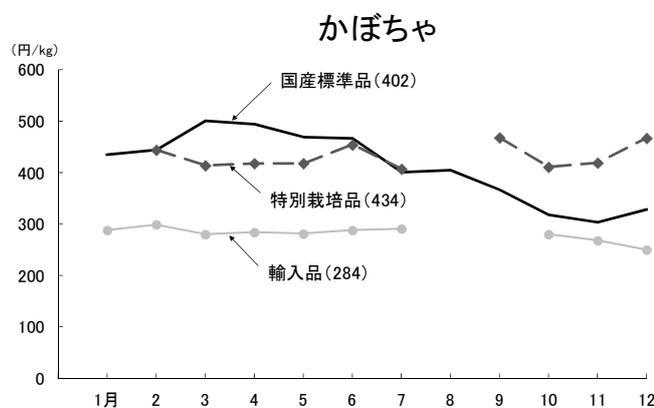
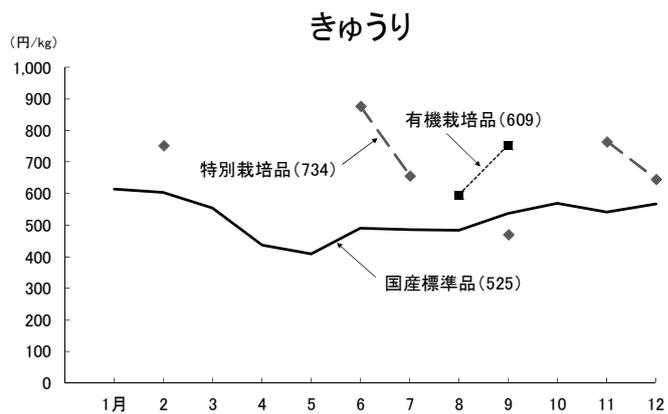
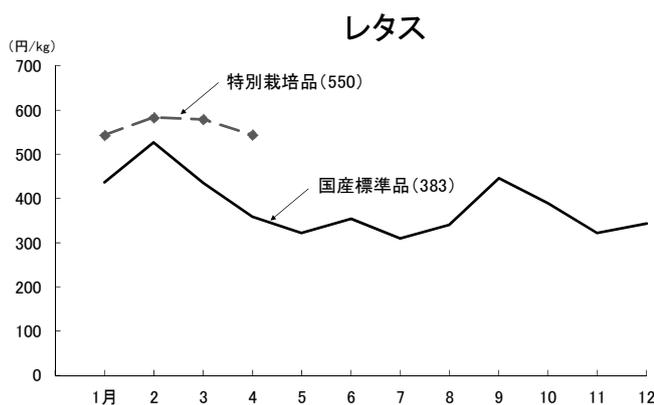
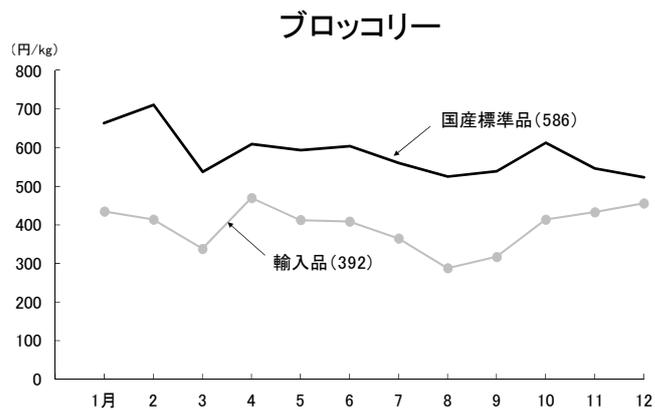
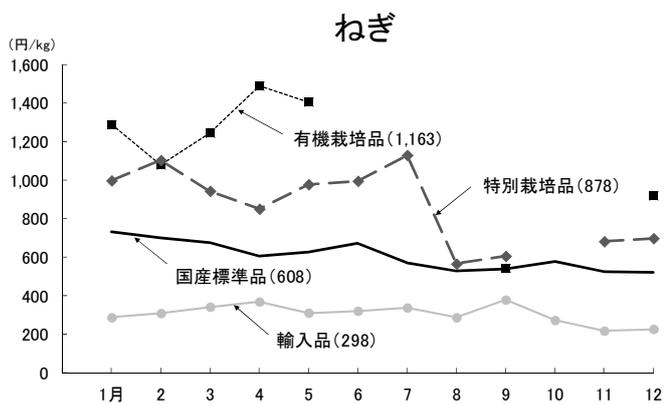
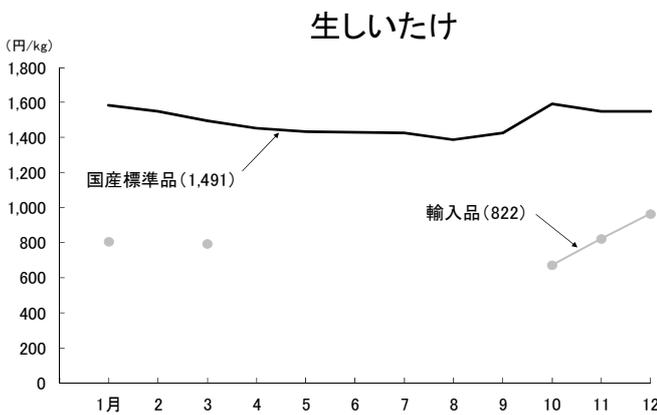
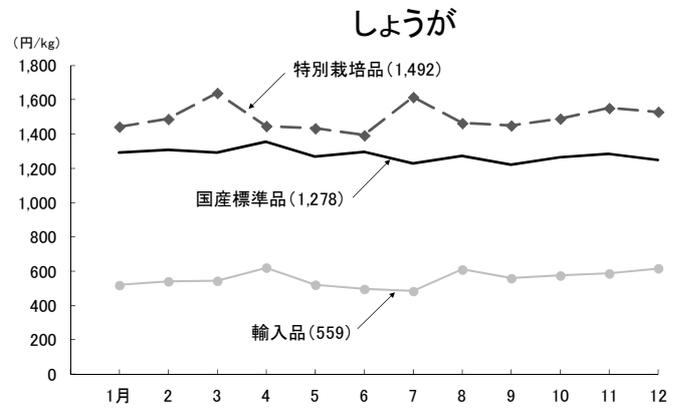
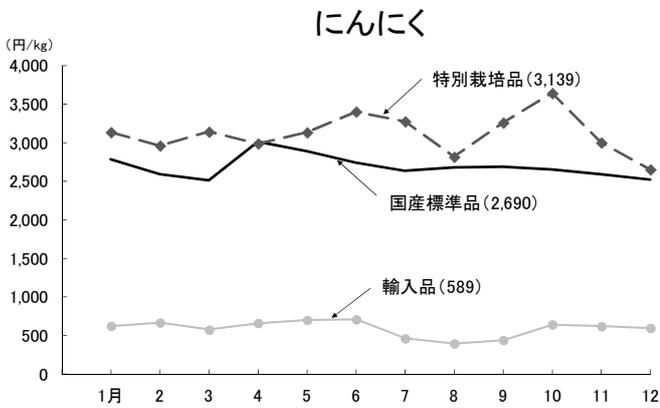
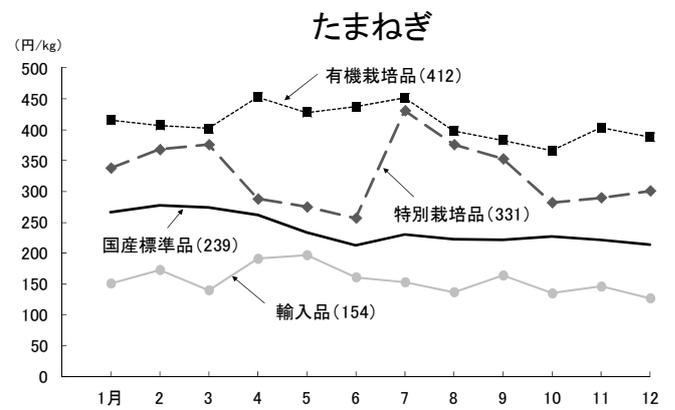
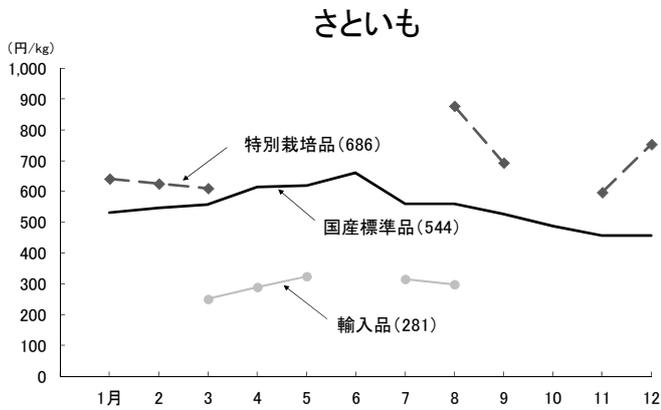
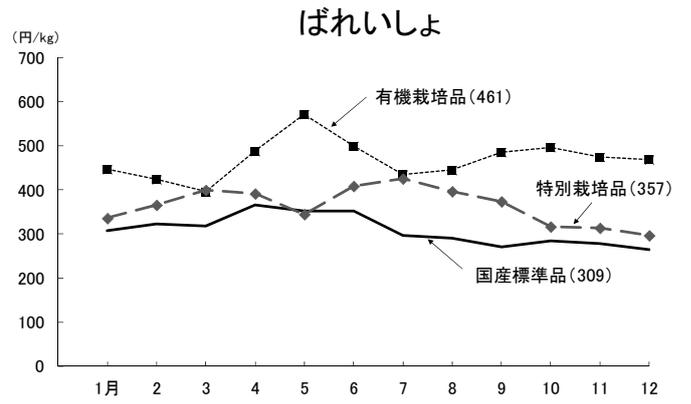
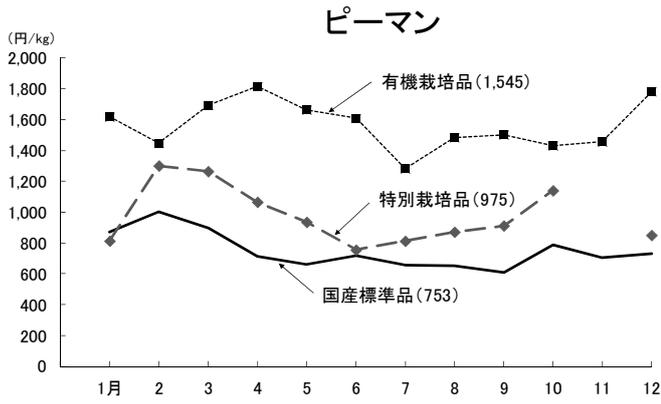


図1 販売区別の価格の推移（続き）



2 並列販売店舗^(注)における品目別販売区分別（有機栽培品、特別栽培品及び輸入品）の価格・販売動向

(1) 品目別販売区分別の並列販売店舗数割合

ア 国産標準品と有機栽培品の並列販売店舗数割合を品目別にみると、10%以上の店舗で並列販売されている品目は、にんじん、ほうれんそう、ばれいしょ、たまねぎとなっている。

イ 国産標準品と特別栽培品をみると、10%以上の店舗で並列販売されている品目は、たまねぎ、しょうがとなっている。

ウ 国産標準品と輸入品をみると、10%以上の店舗で並列販売されている品目は、ブロッコリー、かぼちゃ、にんにくとなっている。

ただし、かぼちゃの並列販売店舗数割合（11.4%）は、かぼちゃの輸入品を取り扱う販売店舗数割合（28.1%）と比べると半分以下となっており、輸入品のみを取り扱っている店舗の割合が他品目に比べて高くなっている。

注： 並列販売店舗とは、同じ品目について国産標準品と高付加価値品（有機栽培品、特別栽培品）又は輸入品のいずれかを同時に販売している店舗をいう。

表 2 品目別販売区分別の並列販売店舗数割合

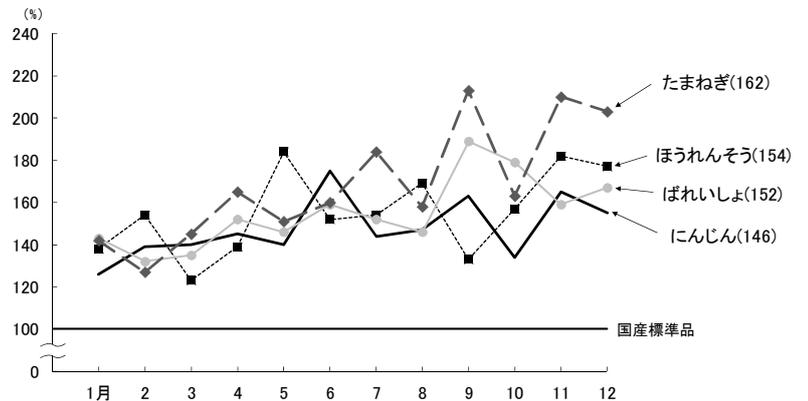
品 目	並列販売店舗数割合		
	有機栽培品	特別栽培品	輸入品
	%	%	%
だいこん	5.6	1.8	…
にんじん	13.9	8.8	0.8
ごぼう	6.9	1.6	2.9
はくさい	…	0.2	…
キャベツ	0.6	0.6	…
ほうれんそう	11.0	1.1	…
ねぎ	1.5	1.6	2.8
ブロッコリー	…	…	15.9
レタス	…	0.7	…
きゅうり	0.7	0.9	…
かぼちゃ	…	0.5	11.4
なす	0.6	2.1	…
トマト	3.1	5.4	…
ミニトマト	3.7	7.7	-
ピーマン	4.4	4.3	…
ばれいしょ	11.9	5.2	…
さといも	…	0.7	1.2
たまねぎ	13.9	10.5	5.7
にんにく	…	5.8	28.5
しょうが	…	14.0	7.0
生しいたけ	…	…	1.2

注： 並列販売店舗数割合は、年間延べ調査店舗（1,223店舗）に対する、各品目の販売区分別の年間延べ並列販売店舗数の割合である。

(2) 並列販売店舗における国産標準品に対する販売区別品目別の価格比

図2 国産標準品に対する有機栽培品の価格比

ア 国産標準品に対する有機栽培品の年平均の価格比を並列販売店舗数が多い上位4品目についてみると、たまねぎが162%、ほうれんそうが154%、ばれいしょが152%、にんじんが146%であった。



注1： () 内は、年平均価格比である(以下同じ。)
 注2： グラフが途切れている部分は、当該品目の販売店舗数が1店舗以下であった月である(以下同じ。)

図3 国産標準品に対する特別栽培品の価格比

イ 国産標準品に対する特別栽培品の年平均の価格比を並列販売店舗数が多い上位4品目についてみると、たまねぎが148%、にんじんが132%、ミニトマトが129%、しょうがが123%であった。

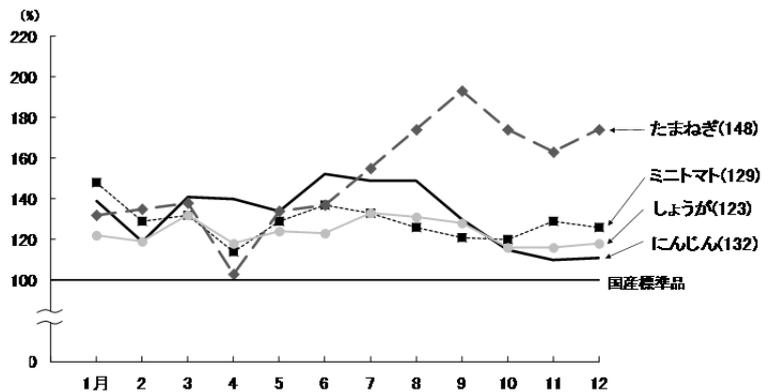
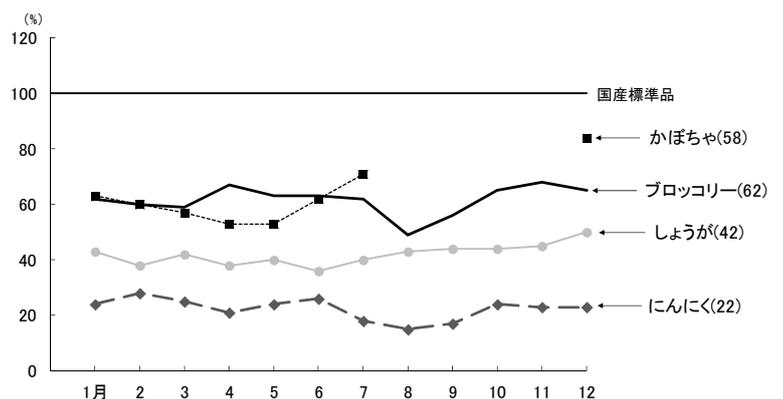


図4 国産標準品に対する輸入品の価格比

ウ 国産標準品に対する輸入品の年平均の価格比を並列販売店舗数が多い上位4品目についてみると、ブロッコリーが62%、かぼちゃが58%、しょうがが42%、にんにくが22%であった。



3 国産標準品と輸入品の並列販売店舗の状況

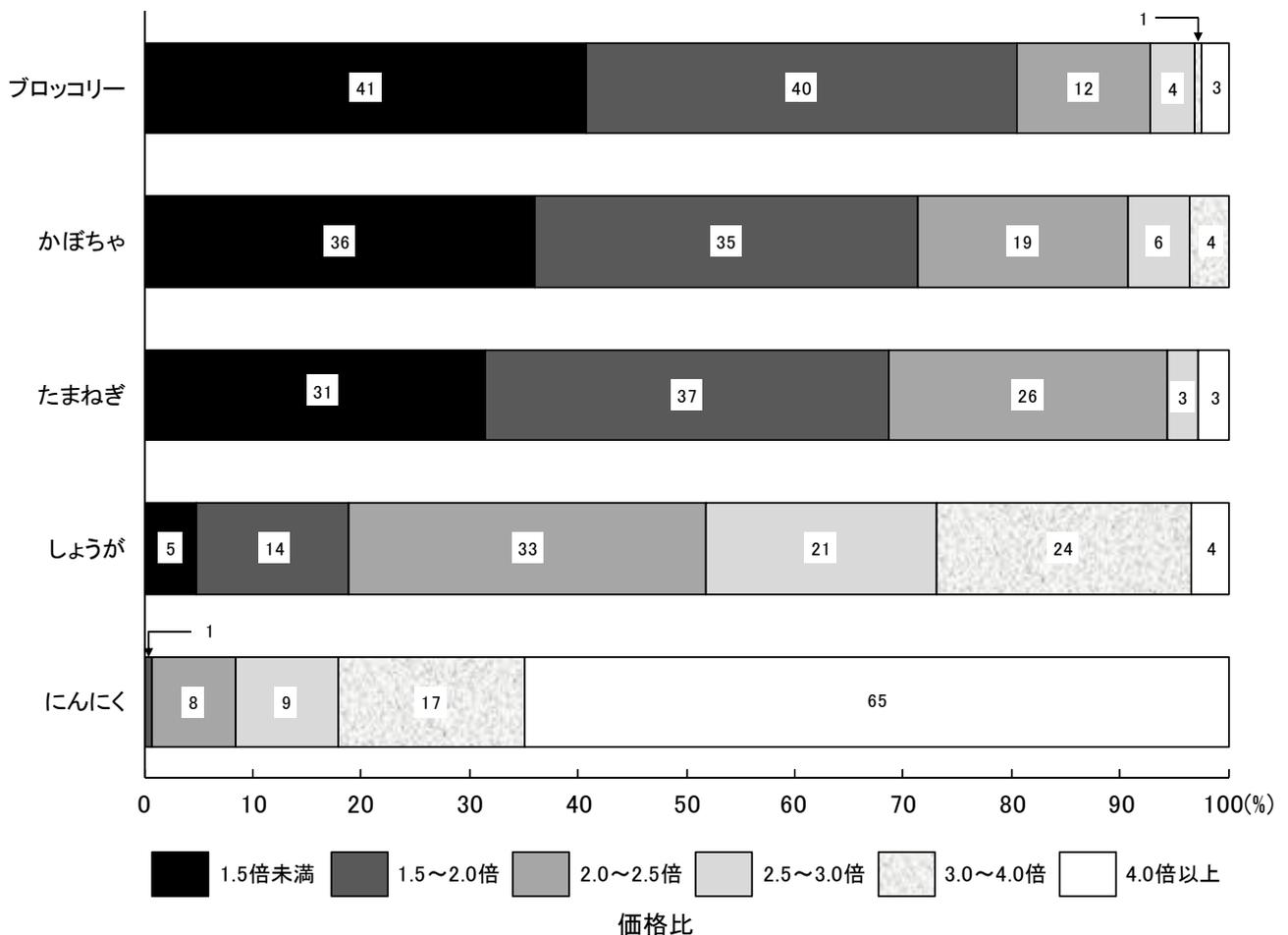
国産標準品と輸入品の並列販売店舗について、店舗数の多い上位5品目（ブロッコリー、かぼちゃ、たまねぎ、にんにく、しょうが）をみると、以下のとおりであった。

(1) 価格比別の輸入品並列販売店舗数割合

価格比（国産標準品/輸入品）別の店舗数の割合をみると、価格比が比較的小さい店舗の割合が大きい品目は、ブロッコリー（価格比2.0倍未満が8割）、かぼちゃ（同7割）、たまねぎ（同7割）であった。

一方、にんにくは、約8割の店舗が価格比3.0倍以上となっており、他品目に比べて価格比が大きくなっている。

図5 価格比別の輸入品並列販売店舗数割合



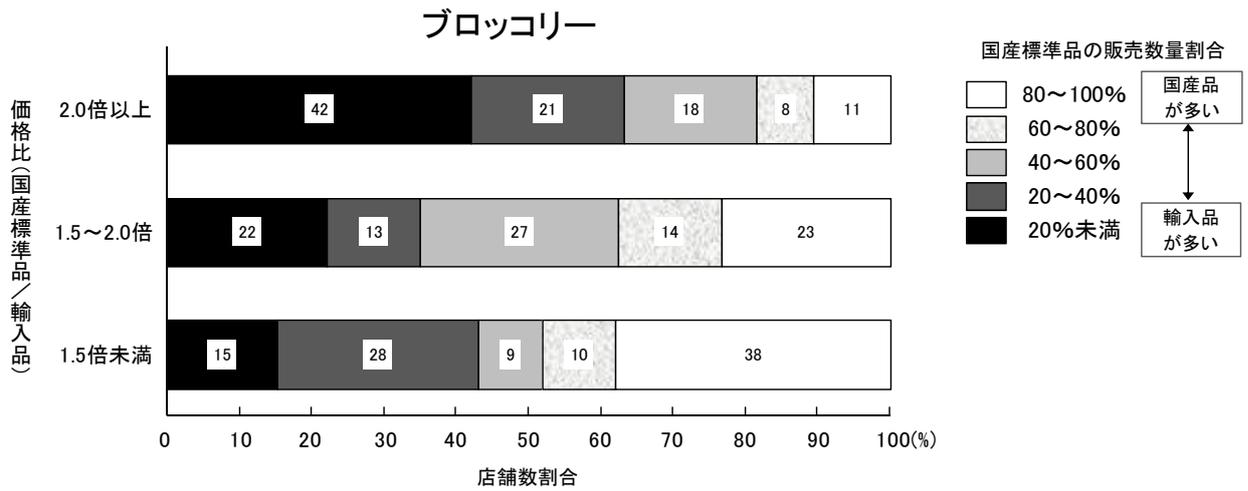
注1： 価格比＝国産標準品の価格／輸入品の価格であり、数値が大きいほど輸入品が国産標準品より安価であることを示す。

注2： グラフ中の数値は四捨五入しているため、積み上げても100(%)とならない場合がある。

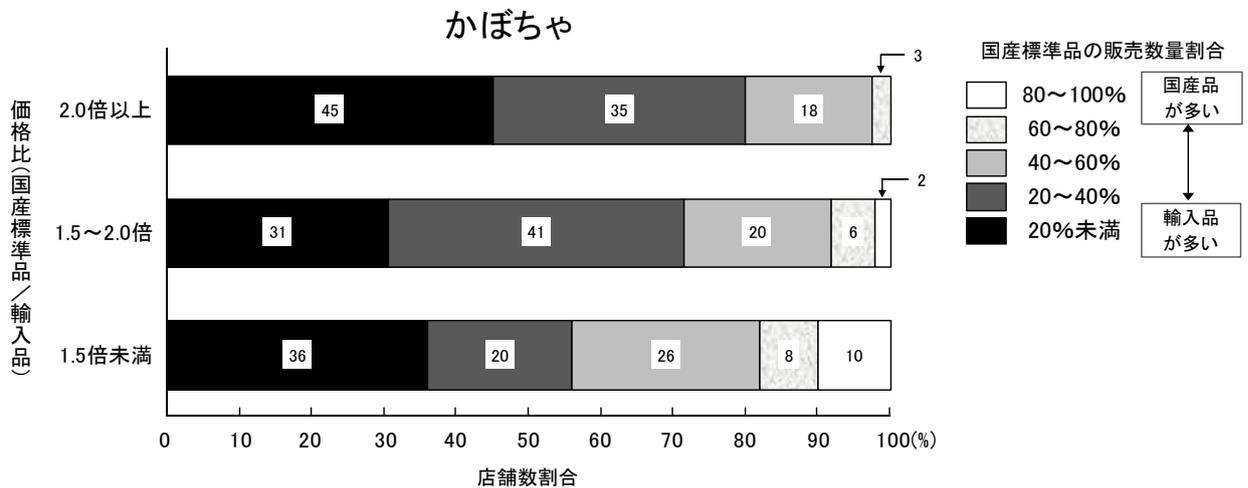
(2) 価格比別にみた国産標準品販売数量割合別の輸入品並列販売店舗数割合

国産標準品販売数量割合別の店舗数の割合を価格比（国産標準品/輸入品）別にみると、総じて価格比が小さいほど国産標準品の販売数量割合の高い店舗の割合が高く、価格比が大きいほど国産標準品の販売数量割合の低い店舗の割合が高くなっている。

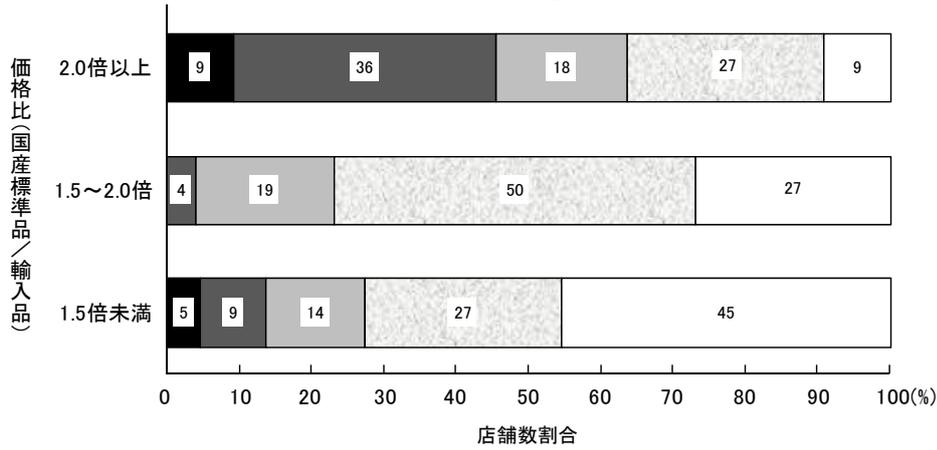
図6 価格比別にみた国産標準品販売数量割合別の輸入品並列販売店舗数割合



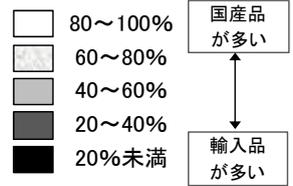
注1： 価格比＝国産標準品の価格／輸入品の価格であり、数値が大きいほど輸入品が国産標準品より安価であることを示す（以下同じ。）。
 注2： 国産標準品の販売数量割合＝国産標準品の販売数量／（国産標準品の販売数量＋輸入品の販売数量）×100であり、数値が小さいほど輸入品の占める割合が高いことを示す（以下同じ。）。
 注3： グラフ中の数値は四捨五入しているため、積み上げても100(%)とならない場合がある（以下同じ。）。



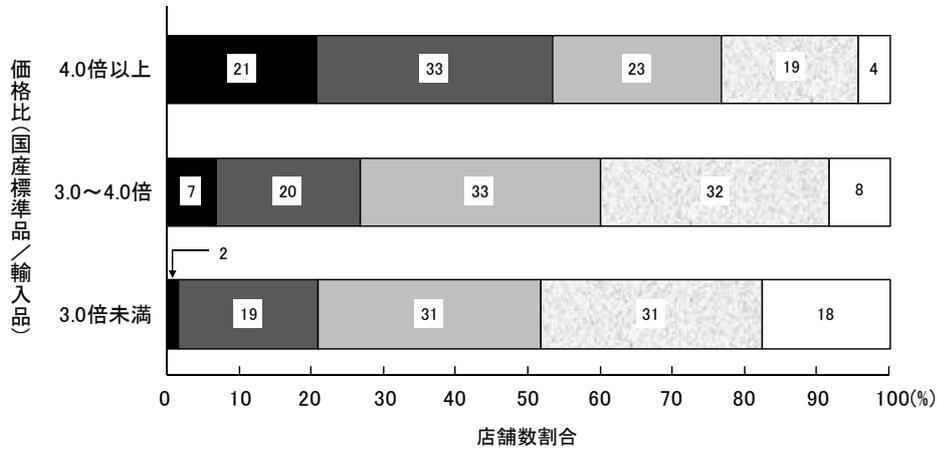
たまねぎ



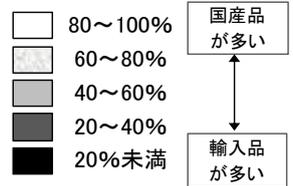
国産標準品の販売数量割合



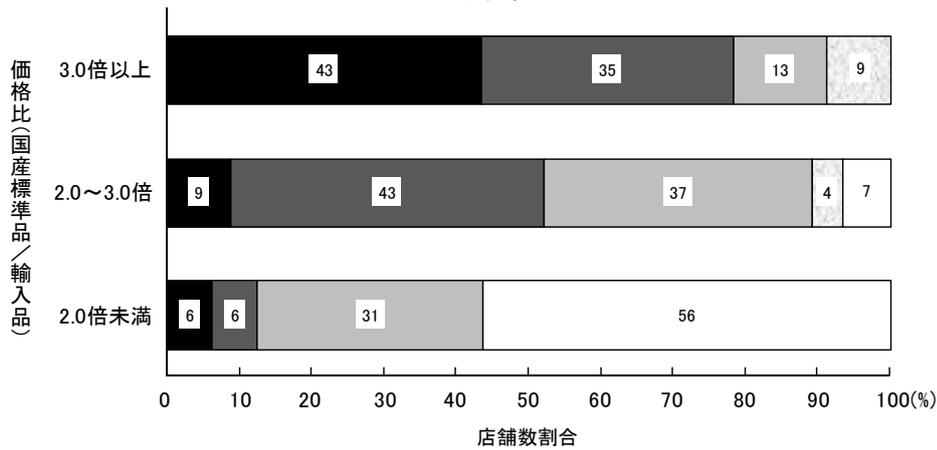
にんにく



国産標準品の販売数量割合



しょうが



国産標準品の販売数量割合

